

## 第50回滋賀県公立小中学校事務研究大会オリエンテーション

全体会

「わかる！ できる！ Let's カリマネ！

～ 繋げよう 教育と子どもたちの輝く未来 ～ 」

湖東ブロック実行委員会

最近よく耳にする『カリキュラム・マネジメント』ですが、どのようなものかご存知ですか？

何となくはわかっているけど、自信をもって答えられない・・・そう思われる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。私たち実行委員も「よくわからない」からスタートしました。そして学びを深めるにつれ私たちなりの「気づき」がありました。その「気づき」を皆さんも一緒に感じていただけると嬉しいです！

全体会では講師に愛知教育大学教育支援専門職養成課程教授 風岡 治 様を迎え、『カリキュラム・マネジメント』について一緒に考えます。

私たちの普段の仕事の中からも、できることが見つかるかもしれません！

教育と子どもたちの輝く未来を繋ぐため、一歩踏み出してみませんか。

第1分科会

「社会に開かれた教育課程の実現のために

事務職員はどう関わるか」

～コミュニティ・スクールを通して事務職員にできること～

長浜市小中学校教育研究会事務部会

長浜市は、平成24年度からすべての学校に学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクールに指定されています。長浜市の学校事務職員の標準的職務にもコミュニティ・スクールへの参画が明示されています。しかし、令和元年度の意識調査では約3割のみが、「共同実施の活動を通して地域連携(学校運営協議会(CS))に関わっている」という結果でした。

そこで、つかさどる職になったこともあり、「財務」を切り口として、学校運営や学校運営協議会にかかわることを共同実施の目標にしました。学校全体の予算の説明資料を作成し、学校運営協議会に資料として提示する取組を行いました。今後は予算提示だけにとどまるのではなく、さらに意識を向上させ取組の幅を広げていきたいと思えます。まだまだ、模索中ですがみなさんと共にこれからの学校事務職員の役割を考えていきましょう！

## 第2分科会

### 「共同学校事務室 ～米原スタイル～」

米原市小中教育研究会事務職員部会

「みんなで集まって何するん？」「共同実施とどう違うの？」

令和元年に「共同学校事務室の設置に向けての話し合い」を始めた頃は、全員から「わからないワード」が飛び出していました。

そこで、私たちは「共同学校事務室～米原スタイル～」を研究テーマとして、全員で話し合いを重ね共通理解を図りながら、米原市の共同学校事務室の形を創り上げてきました。また同時に事務職員の意識を変えていくための活動を行ってきました。

今回の分科会では、令和3年4月に共同学校事務室が設置されるまでの取り組みの経過や、設置後の実践を紹介させていただきます。

16名の小さな組織が、共同学校事務室の設置を目指して、試行錯誤しながら、みんなで考え創り上げてきた活動記録です。ご覧ください。

## 第3分科会

### 共同実施から共同学校事務室へ

～地域グループ部会から始める共同学校事務～

彦根市事務職員研究協議会

学校徴収金事務、文書(情報)管理の統一化、児童生徒作品発送の事業化、青年教員研修などの成果を上げてきた、彦根市学校事務推進委員会の「企画部会」。

『共同学校事務室になったら、何ができるか？』

「彦根市の共同学校事務室は4つの地域グループ部会がベースになっていくであろう」という予想のもと、今年度は彦根市学校事務推進委員会の活動の中心が「企画部会」から「地域グループ部会」へ変わりました。

中学校区を元に組織された「地域グループ部会」。各地域の特性を活かしてチャレンジ実践中です。共同学校事務室にむけて課題が山積みの中、大きなシフトチェンジが吉となるか、凶となるか！